

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	老人クラブ活動補助	シート番号	A 一般事務事業 11-083
担当部署名	健康福祉 局 長寿社会 部 長寿支援 課	評価責任者(課長名)	羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	昭和 38 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	老人福祉法、堺市老人クラブ活動補助金交付要綱、堺市老人クラブ連合会補助金交付要綱				
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
5	事業実施の経緯	老人福祉法では、市町村は老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者の活動の連携及び調整を図る等地域の実情に応じた体制の整備に努めなければならない、と定められている。本市においては、厚生労働省老健局長通知「老人クラブ活動等事業の実施について」に基づき行われる事業に対して、補助金を交付している。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (老人クラブ)			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	堺市老人クラブ連合会 市内の単位老人クラブ			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	老人クラブが行う事業に対し助成することにより、高齢者の幅広い社会活動を促進して、市内の高齢者の自立を支援し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	老人クラブ活動補助金 30～44人のクラブについては年額24,000円、45人～89人のクラブについては年額52,560円、以降会員数が50人増えるごとに45,000円を上乗せした金額を補助金として交付している。 老人クラブ連合会補助金 基本額+(70円×会員数)+特別事業分+活動推進員等の事務局の人件費の合計額を補助金として交付している。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 堺市老人クラブ連合会/市内の単位老人クラブ				

Ⅲ. 投入量

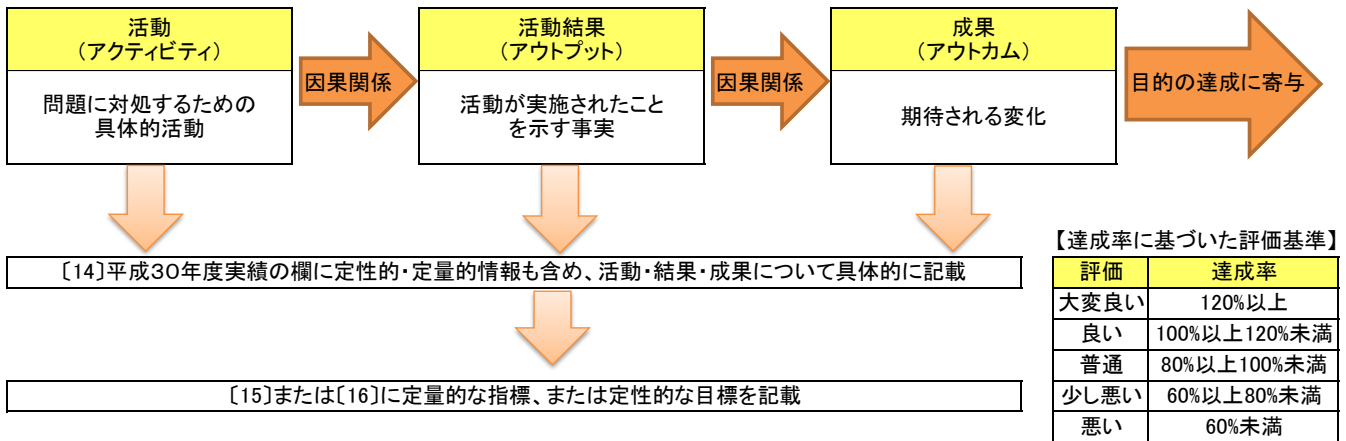
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	62,136	61,841	61,340	63,035	
	主な事業費内訳	堺市老人クラブ連合会補助金	千円	19,979	20,057	19,978	21,276
		老人クラブ活動補助金	千円	42,050	41,672	41,319	41,737
		その他	千円	107	112	43	22
	財源内訳	国・府支出金	千円	22,173	24,124	24,110	24,549
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	3,790	3,790	3,790	3,750
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	65,926	65,631	65,130	66,785

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	老人クラブ活動補助	シート番号	11-083
-------	-----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>本年度も老人クラブの活動を助成し、高齢者の幅広い社会活動や、健康増進等の高齢者の自立を促進し保健福祉の向上を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブは、主に60歳以上の高齢者が加入できる自主的な組織で、社会のために何か活動したいが、何をすれば良いかわからないといった方などが、自身の生きがいを作るためや、社会奉仕活動を行うために入会する方が多い。 老人クラブでは、ゲートボールやウォーキングなどの健康づくり活動や、地域清掃や子供の見守り活動などの社会奉仕活動といった幅広い社会活動を行っている。 クラブ数、会員数ともに、全国的に減少傾向にあるなか、少しでもこの減少傾向を食い止めるために、堺市老人クラブ連合会では、老人クラブへの加入の呼びかけなどを積極的に行い、会員を増やす取り組みである「会員増強運動」を実施した。 老人クラブ数実績(平成30年度補助金申請数) 堺区:85クラブ 中区:56クラブ 東区:39クラブ 西区:79クラブ 南区:95クラブ 北区:100クラブ 美原区:20クラブ 老人クラブ会員数(平成30年度末時点) 堺区:8,677人 中区:4,847人 東区:1,690人 西区:6,107人 南区:4,690人 北区:6,892人 美原区:2,586人 							
	14	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		15	活動補助を実施したクラブ数	クラブ	497	489	480	474
				実績値	489	480	474	
				達成率	98%	98%	99%	
	評価	普通		普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		前年度実績値より今年度の目標値を算出					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		老人クラブの会員数	人	38,000	38,000	36,000	36,000	
			実績値	37,836	35,657	35,489		
			達成率	100%	94%	99%		
	評価		良い	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など		前年度実績値より今年度の目標値を算出					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
定年延長などにより、比較的若手の高齢者の加入がほとんどないことに加えて、価値観の変化や地域の希薄化などにより、新規加入が減少傾向にある。一方、老人クラブ内の高齢化が進み、会長等の役員の成り手不足などから解散クラブが増えていることが、加入率の低下につながっている。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。